

よりよい伝統をいつまでも

校長 有島愛郎

第39回体育大会を盛会のうちに終えることができました。これもひとえにご来賓や保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力の賜物だと感謝申し上げます。早朝より大勢の方が参観してくださいました。また、積極的に競技へ参加して下さったり、大きな声援や拍手をくださったりしたことは生徒の大きな励みや意欲になりましたし、よい思い出となりました。ありがとうございました。

ところで、私にとって今年は還暦という節目の年です。正月は中学時代の同窓会を開催する予定です。15年ぶりの学年同窓会であり楽しみも一入です。

私が卒業した中学校は鹿児島市内にあり、伝統として、登下校時



においての門礼と7時45分までの登校がありました。門礼は門で立ち止まり、登校時は「今日お願いします」、下校時は「一日ありがとうございました」という気持ちを込めてあいさつします。入学時は先輩の真似して礼をするというものでした。私にとって最も大変だったのが登校でした。それは時間までに門を通らないと遅刻となり、門にて週番の同級生に生徒手帳を没収され、後に短学活で担任から厳しい指導を受けるからです。私の家から学校までは2.4kmありましたが、家を出るのが7:20頃だったのでほぼ毎日通学の半分は走るという状況でした。夏は汗だくになり、冬は白い息を吐きながらの登校でした。それでも年に数回は遅れ、学活の時間にお仕置きされました。今となっては、よき思い出の一つとなっています。

ところで、本校は徒歩での登下校とあいさつが伝統になっています。本校のあいさつは、道ですれ違う人にするだけでなく、通りゆく車の運転手にもあいさつをします。特徴的なことは、後方から近づくの車にも振り返りあいさつすることです。はじめて目にする人にとっては驚きと感動です。感激された旅行者が葉書をくださったほどです。一方、徒歩での通学は、長浜からは3kmを越える遠距離、青瀬からは2km強あり、しかも車のアクセルを深く踏み込まねば登らないほどの急な坂道です。徒歩での通学は夏の暑さや冬の寒風で大変だとは思いますが、強い体や心を養うには大変よいことだと思います。その昔、西山地区の中学生が助八古道を歩いて青瀬中学校へ通学していたことを聞き、当時の生徒の心の強さには驚きかされました。

思いやりの心と強い体を養う先輩達が築いてきたあいさつと徒歩通学を、よき伝統として今後とも残していきたいと思えます。本校を卒業された保護者の方のその思いは殊更強いのではないのでしょうか。最近、天候のよい日でも車での通学が目立っています。保護者の皆様方のご協力をお願いいたします。

第39回体育大会

秋晴れの最高の天候の下、体育大会が実施されました。少ない練習時間ではありましたが、応援団長を中心に熱心に練習に励んでいました。大会は各団長を先頭に緊張感のある凛々しい行進で始まりました。各競技では、生徒全員が団の勝利を願い最後まで持てる力を発揮していました。応援合戦では紅白共に気迫溢れる演舞を披露し、会場からは「凄い！」の感嘆の声と幾度となく大きな拍手が送られました。

また、保護者の方も「まだまだ我が子には負けられない」と強い意気込みをもって積極的に競技に参加してくださいました。最後の紅白対抗リレーでは、急遽、保護者・地域チームを結成し、大会を盛り上げてくださいました。生徒・保護者・地域が一体となった大会となりました。

本校職員は言うまでもなく、生徒にとっても忘れられない思い出深い体育大会になりました。ありがとうございました。皆様方に感謝申し上げます。



小中一貫教育の取組

9月7日(水)に鹿島小・長浜小・海星中合同による海星中学校区小中一貫教育実践発表会を長浜小を会場として開催しました。教育関係者及び保護者・地域の方々など、島内外から総勢70名の参加がありました。

「算数科(小学4年)」に中学校教諭が補助として加わった授業と「ふるさと・コミュニケーション科」(小学5年~中学1年)の授業を公開しました。特に、ふるさと・コミュニケーション科の授業においては、中学1年生4名が各グループのリーダーとなり、5・6年生から上手に意見を引き出し、まとめていました。参加された先生方から「異年齢集団の中、中学生がリーダーシップを発揮し、とても素晴らしかった」という感想をいただきました。

この発表会を通して得られた成果や課題は、これからの小中一貫教育活動に役立てていきたいと考えています。



『百花繚乱』 ~華麗なる紅 純白の白~

薩摩川内元気塾

心理カウンセラー有川純一氏をお招きし、~自己探求、感謝の気持ちが輝く未来を拓く~をテーマに講話をしていただきました。

CMや87歳の大学生の映像を見せたり、生徒に考え発表させたりしながらの内容で、生徒も興味深く関心をもって参加していました。大切な点を以下にまとめました。

- 自分の雰囲気は他者に感染すること。
 - 「自分のよさ」とともに「自分の弱い部分」も知り、さらけ出すこと。
 - 感謝の気持ちは自分自身の力になること。
 - やりたいこと、夢をもつこと。
- そして、「ENJOY SMILE」(笑顔で人生を楽しみなさい)で締めくくられました。
~生徒の感想~
- ◎ これまでずっと「夢」と言えるものがありませんでした。でも今回の講演のお陰で、夢がないのは自分自身を分かっていないからということに気づかされました。
 - ◎ 自分自身を知ることとはとても大事だと思った。87歳のおばあさんのように、何歳になっても、夢を諦めないようにしたいと思った。



いじめを考える週間

いじめを考える週間に、1年生は「パラリンピック」を題材に、2年生は青森県の中学2年生の自殺事件、3年生は言葉の暴力について考える授業を行いました。生徒は「今日の授業は、自分が言われたくない言葉や嬉しい言葉を言い合って、気持ちがすっきりした。相手の立場になって、嬉しくなる言葉をたくさん使えるようになりたい。」と感想を書いていました。

~ つもった雪 ~
上の雪 さむかるな つめたい月がさしていて
下の雪 重かるな 何百人ものせていて
中の雪 さみしかるな 空も地面もみえないで
詩：金子みすず

徒歩通学を!

1学期後半から、登校時に車での通学生徒が増えていますが、徒歩通学の効果として次のようなものが上げられます。忍耐力・責任感・自律心・集中力・心肺機能及び体力向上等…。これからも徒歩通学へのご理解とご協力をお願いします。(裏面へと続きます)



PTA親子共同美化作業

夏休みの奉仕作業へのご協力ありがとうございました。当日は暑く、小雨の降る中での作業でしたが、皆様のお力によりまして、学校周辺が見事に整備されました。お陰で、気持ちよく2学期のスタートをきることができました。ありがとうございました。感謝申し上げます。



〈 表彰 〉

Congratulations

○ 薩摩川内市図画作品審査会

- 特選 2年 西陽歩さん
- 入選 1年 石野朱菜さん 大田夏美さん
- 戸田奈々美さん
- 2年 田原優さん 徳重佑風さん
- 3年 宮直樹さん 東直人さん
- 中川歩さん

○ 薩摩川内市理科作品審査会

- 特選 1年 石野朱菜さん 大田夏美さん
- 2年 徳重佑風さん
- 入選 2年 西陽歩さん 東紀亜さん

○ 薩摩川内市児童生徒作文コンクール審査会

- 特選 1年 大田夏美さん
- 3年 中川歩さん
- 入選 2年 高山花音さん